

The Nippon Foundation-GEBCO Seabed 2030 シンポジウム
「From Vision to Action」

■日時

2019年10月22日（火）

■場所

The Royal Society（王立協会）※現在する世界で最も古い科学協会

■参加者

海洋関連の科学者・研究者、政府、国際機関、民間団体、BBC や The Times を含むマスコミの関係者等 100名

■シンポジウム開催の目的

1. Seabed 2030 の進捗報告・成果発表
2. 2030年までに全世界の海底地形を明らかにするために、既存のデータ収集と平行して行う新たな取り組みの発表
3. Seabed 2030 の新しいディレクターのお披露目

■シンポジウム（14:00 - 17:00）

12:30 - 14:00	受付（Marble Hall にて）
14:00 - 14:05	映像上映
14:05 - 14:10	挨拶 在英日本国大使館 特命全権大使 鶴岡公二
14:10 - 14:15	ウェルカムスピーチ 王立協会 副会長・財務担当 Professor Andy Hopper CBE
14:15 - 14:25	開会の挨拶 日本財団 会長 笹川陽平
14:25 - 14:55	Seabed 2030 進捗報告・成果発表 ・南極海地域センター センター長 Dr. Boris Dorschel ・大西洋・インド洋地域センター センター長 Dr. Vicki Ferrini
14:55 - 15:25	<休憩>
15:25 - 15:30	Seabed 2030 新ディレクターの紹介 GEBCO 指導委員会 委員長 谷伸

15:30 - 15:50	基調講演 米国海洋大気庁 (NOAA) 沿岸調査長 Shepard Smith 海軍少将
15:50 - 16:05	未開拓海域のマッピング 北極海・北太平洋地域センター 共同センター長 Dr. Martin Jakobsson
16:05 - 16:20	GEBCO フェローによる Seabed 2030 への貢献 海洋地理学者 Aileen Bohan (GEBCO-日本財団 Alumni Team メンバー)
16:20 - 16:35	Seabed 2030 のさらなる発展に向けた技術革新 北極海・北太平洋地域センター 共同センター長 Professor Larry Mayer
16:35 - 16:50	今後に向けてのステートメント Seabed 2030 新ディレクター Jamie McMichael
16:50 - 17:00	閉会の挨拶 国際水路機関 (IHO) 事務局長 Dr. Mathias Jonas

■ レセプション (17:30 - 20:00)

17:30	挨拶 政府間海洋学委員会 (IOC) 事務局長 Dr. Vladimir Ryabinin
20:00	閉会